長崎国際大学 同窓会誌

2015.3 VOL.9
Nagasaki International University

【発行元】長崎国際大学同窓会
〒859-3298
長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7
長崎国際大学事務局
TEL.0956(39)2020 FAX.0956(39)3111
E-mail:dousou@niu.ac.jp

前へ。～悠和会の役目～

長崎国際大学　悠和会
会長　折原賢児

若草の萌えだす今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、第12回目となる学位記授与式に参列して参りました。快晴のもと、カメラに向かってピースサインをおくる学生たちの姿が、大変華々しく、晴れやかに映りました。

今年度は卒業生に加え多くの先生方が退職され、そのなかには開学当初からの先生であり恩師でもある、小坂智子先生、立平進先生、細田亜津子先生のお姿がありました。

私事になりますが、学部から院時代を通し、学問以外においても多くを教えて頂いた先生方でした。“大学へ顔を出せばいつでも会える”。失礼ながら、多くの時間を共に過ごした同級生の様な、どこかそういう感覚でおりました私にとって、大変感慨深いものを感じました。

“別れ”というものは大変寂しいものですが、それは一時的なもの。なぜなら、私たちは次に進まなければならないからです。また会うその日まで、それぞれの道を歩み、成長した姿で分かち合うことができれば、それは私たちにとって至福の時間となるはずです。物理的に遠く離れていても“相手を想う気持ち”が私たちにはあります。その様な気持ちを繋ぐ、届ける、集めることが、私たち悠和会の役目なのだと、改めて感じました。

最後になりましたが、同窓生と恩師の方々のご健康とご多幸をお祈り致しまして、今後とも長崎国際大学同窓会悠和会をよろしくお願い申し上げます。

「更なる成長を　～梅の香によせて～」

長崎国際大学　理事長・学長
安部　直樹

紅梅、白梅の蕾が大きく膨らみ、本学園の卒業式シーズンを迎えました。大学は3月7日の卒業式に323名の学生が旅立っていきました。卒業生の前途に幸多かれと祈りつつ、お別れをいたしました。好む、好まざるにかかわらず、長崎国際大学の卒業生であるという称号は一生ついてまわります。そのことの重みを教職員は真剣に受けとめて、本学の卒業生であるという誇りが持てる大学として、更に成長させていきたいと考えております。

本年度を振り返ってみますと、4月2日に463名の新入生を迎えました。10月12日～ 22日には長崎がんばらんば国体、11月1日～ 3日には長崎がんばらんば大会が開催され、長崎県代表選手はもちろん、100名以上のボランティアの学生が運営に協力いたしました。また、11月18日～ 19日に7年に1度の大学としての資格があるか、基準を満たしているかを判断される日本高等教育評価機構の認証評価を受け、合格の証を頂きました。

さらに、健康栄養学科3年の辻恵子さんがミス・ユニバース日本代表に選ばれました。2月24日には本学と佐世保市が包括連携協定を、2月26日には人間社会学部が平戸市社会福祉協議会と連携協定を締結し、国が勧める地方創世の一翼を担うことになりました。地道な教育研究の実績が積み重なった1年でありました。

皆さんも同じように、何かをすれば結果がすぐに結びつくものではありません。1日1日を大切にして、1年を送る。その1年1年を大切にして10年となっていく。継続は力なりです。10年経た卒業生の顔にしっかりした賢さが窺えるのは、1日1日を生きた証です。1日1日を無駄に過ごせば、10年後の顔は信頼出来る顔にはなりません。七転び八起き。冬があれば春が来る。今ある一つ一つの問題に真摯に向き合い、乗り越えてください。きっと春がやって来ます。

同窓生の皆さん、どうぞ年々進化し続ける学び舎に遊びに来てください。かつて自らが夢の実現をめざし努力した日々、仲間と心ゆくまで語り合った日々、その原点が母校にはあります。大学も皆さんの夢を一緒に追いかけるよう努力してまいります。本学の母体である九州文化学園も、平成27年度には、創立70周年を迎えます。互いの更なる成長を期すると共に、皆さんが健康で素晴らしい人生を歩まれることを祈っています。

新たな飛躍の時を迎えて

長崎国際大学
人間社会学部長
木村　勝彦

厳しい寒さの冬も去り、ここかしこに生命の息吹を感じることのできる早春となりました。悠和会の皆さんも健やかにお過ごしのことと思います。

この春、本学からは学部で318名の卒業生、大学院で5名の修了生を送り出すことができました。本学における学びの成果を糧に、323名の若者たちが有為な社会人として活躍し、幸多き人生行路を歩んで行くことを衷心より期待しているところです。悠和会の皆さんには、大学および実社会の先輩として、学び舎を巣立っていった後輩たちを温かく激励くださるようお願いいたします。

さて、本学は平成26年度に(財)日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、無事に「適合」の評価を得ることができました。つまり大学として十分に機能し、豊かな成果を挙げているというお墨付きを受けた訳ですが、それだけではなく多くの項目で特に優れているとの高い評価も与えられました。開学以来満14年を経て、長崎国際大学が益々発展していることの証と言えましょう。

しかしそのことに驕ることなく、本学はさらに教育研究における課題を精査し、学生を主人公とする「いつも人から。そして心から」の大学として、しっかりと地歩を固めていきます。在学生はもちろんのことですが、卒業生や保護者の皆さんのご要望にもお応えして、地域社会に根差し、貢献することのできる大学としての伝統を築いていくよう、教職員一同努めていく所存です。そうした謙虚さが本学の さらなる飛躍につながっていくものと確信しております。

「勢不可使尽(いきおい、つくすべからず)」という言葉があります。宋代の或る僧が寺の住職となる時に、師から与えられた四つの戒めの一つです。勢いに乗って好調な時ほど、しっかりと自分の足元を見つめ、謙虚な心構えで物事に当たるべきだという程の意味でしょう。先の語句には、「勢い使い尽くさば、禍(わざわい)必ず至る」という語が続きます。人には好不調の波がありますが、好調な時にはつい周囲の声にも耳を貸さずに突っ走ってしまいがちなものです。謙虚に自分を省みることを忘れないようにしたいものです。

悠和会の皆さんの益々のご活躍を、佐世保の地より祈っております。

平成26年度 クラブ・サークル表彰について

平成26年度全国大会出場クラブ・サークル【8団体】

- 男子ソフトテニス部
- 女子ソフトテニス部
- 女子テニス部
- 空手部
- ゴルフ部
- 男子ソフトボール部
- アーチェリー部
- 女子バレーボール部

平成26年度 クラブ・サークルバックアップについて

平成26年度バックアップ申請団体【7団体】

- 男子バレーボール部
- 男子バドミントン部
- 女子バドミントン部
- 茶道部
- ダンスサークル
- エイサーサークル
- 書道サークル

同窓会の近況

第5回同窓会総会のご案内です。長崎国際大学同窓会では、2年に1回同窓会総会を開催しています。総会では、同窓会の活動や収支決算報告などを行い、同窓会活動をより良いものにしていきたいと考えております。

そこで、ぜひ卒業生の皆様にもご協力・ご参加いただきたく、お願い申し上げます。

大学では春休みに入り、卒業生はそれぞれこれからの準備に追われ、在学生は各々春休みを満喫しております。また、大学では新入生を迎える準備でばたばたしております。何かと忙しい春ですが、同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか？　さて、大学の近況をお知らせします。

近況報告

- 平成27年2月28日・3月1日……薬剤師国家試験
- 平成27年3月7日……卒業式・卒業記念パーティー
- 平成27年3月21日……オープンキャンパス
- 平成27年3月22日……管理栄養士国家試験
- 平成27年4月2日……入学式

受賞クラブからのコメント

男子ソフトテニス部

この度はこのような賞をいただきありがとうございます。このような賞を頂けたのは、監督、ＯＢ、ＯＧ、そしてより良い環境の中で練習が出来るよう支援していただける同窓会の方々のお陰です。深く感謝申し上げます。男子ソフトテニス部は3年連続で全国大会出場するなど近年成績を伸ばしています。来年度は全国大会に出場した経験を活かして、昨年度より全国大会でいい結果を残せるよう、日々練習を頑張りたいと思います。5月には8月に開催される「三笠宮賜全日本学生ソフトテニス選手権大会」の予選を兼ねている「全九州学生ソフトテニス選手権大会」が行われます。

その大会で1ペアでも多く出場できるような結果を残したいと思います。最後になりましたがいつも協力、サポートしてくださる同窓会の皆様ありがとうございます。これからも宜しくお願いします。

女子ソフトテニス部

この度は、このような賞をいただきありがとうございます。
私たち女子ソフトテニス部は、成績を収める数が徐々に増えています。今年度は昨年度を上回る成績を残すことができました。

九州学生リーグ2部から1部昇格、全国大会への出場という目標を持ち日々の練習に励んでいます。ここ数年では全国大会に出場することができています。今後も全国大会に出場し一勝でも多く勝てるよう部員一人一人が向上心を持ち、練習に取り組み、そして部活動を通じ文武両道をはじめ、社会の礼儀や人間的成長、知識を身につけると共に、私たちを日々支えてくださってるたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、部員全員で来年度も好成績を残せるよう頑張りますので応援よろしくお願いします。

女子テニス部

今回、同窓会並びに卒業生の皆さまからクラブ団体表彰をいただき、部員一同感謝申し上げます。

私たち女子テニス部の本年度は、日頃の部活動に加え、団体戦では九州インカレ3位、九州地区1部リーグ戦4位、個人戦ではインカレ出場、九州学生テニスランキング：シングルス5位、7位、ダブルス4位、さらに社会貢献活動として3年間続けています「宮城県　東日本大震災みやぎこども育英基金」への募金を行ないました。

次年度の活動につきましては、個人戦はインカレ出場、団体戦では9月に行われる九州地区1部リーグ戦に優勝し、11月に行われる全国王座テニス決定試合（10校出場）の出場を最大の目標とします。

最後になりますが、いただきます支援金については部活動にて有意義に使わせていただきます。今後も私たち女子テニス部は本学の為、また応援いただいている卒業生の皆さまの為にも頑張りますので、どうぞご声援、ご支援等どうぞよろしくお願いいたします。

空手部

私たち長崎国際大学空手道部は、週3回90分の練習の中で「楽しく全力」をテーマに日々練習に励んでいます。練習では、先輩後輩関係なく意見を言い合い、試合で勝つために自分たちで練習メニューを考えるのが特徴の一つであり、オンとオフのメリハリをしっかりつけることのできるチームです。

昨年は全九州団体アベック優勝を目標に掲げていましたが、惜しくも果たすことができなかったので、その悔しさを胸に、今村先生、田井監督を始めとする指導者の方々とチーム一丸となって、支援会や保護者の皆様などいろいろな方々に支えられ自分たちが空手をできるということに感謝の気持ちを持ち、今年こそは全九州団体アベック優勝を果たせるように1年間精進していきたいと思います。

今年はまた新しい仲間も加わり、ますます大きなチームになりますが、そのチームをしっかりまとめていき、応援してくださる方々に恩返しできるように頑張っていきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

ゴルフ部

このたび同窓会の皆様方からゴルフ部の活動が表彰されたことを、部員一同大変喜んでいます。今年のゴルフ部の成績は九州大会個人戦で1大会優勝、九州大会団体戦では秋季団体戦で初優勝を果たしました。創部以来、大学関係者の方々をはじめ、地域の方々にもご協力していただいたことによって、このような成績が残せたと思っています。

今後はこの表彰を心の支えとして、また心の糧として、表彰の栄誉に恥じぬよう、さらに活躍の場を広げたいと考えています。

同窓会の皆さん、今回はこのような表彰をしていただきありがとうございました。これからも精一杯練習に励み精進していきますので、応援よろしくお願い致します。

男子ソフトボール部

この度は同窓会から表彰していただきありがとうございます。表彰していただいたことを部員一同大変嬉しく思っているとともに、今後ますます精進していかなければならないと感じております。このような表彰式をしていただいたことで私たち男子ソフトボール部が今まで頑張ってきたことが結果として現れたと感じています。しかしながら、私たちだけではなく周りの方々の多大なるご厚意やご協力があったこそ成し遂げられたので、感謝の気持ちを持って頑張っていきたいと思います。今年度は全国大会出場を目標に頑張り、その目標を達成することが出来ました。来年度は全国大会ベスト8という高い目標を立てて頑張っていきたいと思いますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。今回は誠にありがとうございます。

アーチェリー部

この度は、同窓会から表彰を頂戴し、非常にうれしく存じ上げます。我々アーチェリー部が創立した当初の5年前はわずか2名の部員しかいない小さな部活動でした。それが今現在では、部員数も30名を超える大きな部活動に成長し、全国大会でも輝かしい成績を残せるアーチェリー部に成長致しました。

この成績は、部員の努力ももちろんですが、金監督のご指導や学校、同窓会、そして家族などの非常に多くの方々により、多大な支援を頂けることができたために達成できたと思っております。昨年には、新しいアーチェリー場が完成いたしました。これにより、アーチェリーに集中し練習しやすい環境が整い、全日本学生王座優勝という我々の目標に向けてまい進できるようになりました。支援をしてくださった、皆様方にはこの場所を借りて感謝申し上げます。引き続きご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

女子バレーボール部

この度はこの様な賞を頂き誠にありがとうございます。
今年度は、同窓会を始め、大学側による多くの支援により、九州大学春季バレーボールリーグ戦では第2位、西日本バレーボール選手権大会では第3位、九州大学秋季バレーボールリーグ戦では第4位、全日本バレーボール選手権大会ではベスト16位という好成績を収めることができました。この1年間の中で、指導者の変動や九州リーグのシステム改革などにより、昨年とは異なった環境の中でバレーボールを継続できたのも、チームの選手やスタッフだけでなく、皆様のお陰であると心より感じております。この賞を頂いたことをきっかけに、来年度も更に成績を上げ、また大学に貢献できるようにチーム一同、バレーボールだけでなく、様々な行事や経験を活かして励んでいきたいと思います。今後とも、応援・支援の方宜しくお願い致します。

退職者ごあいさつ

国際観光学科 小坂智子（教授）

2000年の開学以来、皆様とともに学んできましたが、この度、退職することになりました。開学時から徐々に変わってきたキャンパスや木々の変化を改めて眺めますと、長崎国際大学の発展とともに卒業生の皆様の巣立つ姿をずっと見てきたこの間は、とても幸せな時間だったと思います。皆様のご健勝と、長崎国際大学同窓会の一層のご発展を祈りあげます。

国際観光学科 細田亜津子（教授）

私の専門研究、トラジャ学はゼロから一人で始めました。もう一つの専門、沖縄学は自分があまりに沖縄について無知であったことから猛勉強しました。これもゼロから始めました。長崎・佐世保も初めての地、本学の創設に教員として尽力しました。これもゼロからでしたが、卒業生、在学生とともに本学の小さな力になれたことを感謝しています。

国際観光学科 立平 進（特任教授）

今年、3月に退職いたします。15年間、長崎国際大学で、お世話になりました。開学前から、お手伝いしたこともありましたが、開学後は、実に充実した日々でした。

最初の年から、学生委員長を仰せつかり、学生会を立ち上げ、学園祭を教職員共々一体となって実施したことは忘れられません。その後、教務委員長もいたしましたが、健康管理学部や薬学部の設置に際して、大学が軌道に乗るまで、気の抜けない毎日でした。研究というより、教育に力を入れたという方が、本当だったかも知れません。

社会福祉学科 友池 敏雄（准教授）

出典はハッキリ分かりませんが、「一般的は教科書の範囲内。例外や新事実は本人の努力が成したもの」という言葉があります。大学教員として私は、研究者であるため高校までとは違って、教科書は参考書的に使い、自らの研究を上乗せする形でやるべきだと考え、講義してきたつもりです。卒後の皆さんも、例外や新事実を作られるのを期待しています。

健康栄養学科 矢野 捷介（学部長 教授）

此度、8年間にわたり奉職した本学を退職することになりました。この間、本学の発展に対する貢献を考えると忸怩たる思いはありますが、大学の皆様には大変お世話になり感謝しております。大学を取り巻く環境が益々厳しくなるなかで本学が着実に発展していくことを願うと同時に、卒業生諸君の人生が幸多からんことを心から願うものであります。

健康栄養学科 石橋なつみ（助手）

みなさんこんにちは。健康栄養学科7期生の石橋なつみです。

私は本学の卒業生で、学部の頃から合わせると7年間、この長崎国際大学にお世話になりました。

学生から助手と大変多くのことを学ばせて頂きました。

本学で出会えたみなさまに、心から感謝しています。

ありがとうございました。

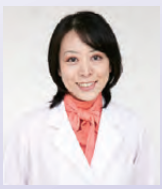
健康栄養学科 戸田 聡美（助手）

３年前この大学に来た当初は、何も分からず、ただアタフタするばかりでしたが、そんなことお構いなしに元気に明るく接してくれる学生の皆さんにたくさん元気をもらい、私も共に勉強し成長することができました。このような機会を与えてくださった安部理事長、本岡本部長、そして私を支え育てて下さった諸先生方、事務局の方々、学生の皆さんに心より感謝致します。

薬学科 小笠原 正良（准教授）

薬学部の開設時に赴任し９年間お世話になりました。薬剤師になるための薬学教育が６年生となり、今回で４回目の卒業生が巣立ち、薬剤師として活躍されている卒業生が多くいます。これから高齢者社会を迎えるに当たり、病院、薬局、地域医療において活躍してください。

薬学科 山本 緑（講師）



今年の3月末日をもって長崎国際大学を退職することになりました。薬学部が新設された2006年に赴任してからの9年の年月、学生さんの笑顔や素直さに支えられてたくさんの幸せを与えて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは私が惜しみなく与える側となるように新天地で頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

薬学科 川上 晋（助教）

卒業生の皆さんと同様に平成27年3月31日をもちまして本学を卒業（退職）することになりました。3年間という短い期間でしたが、学生の皆さんと一緒に過ごした時間はとても充実しており、共に成長できたのではないかと思います。卒業生のご多幸と長崎国際大学の益々の繁栄を祈っております。ありがとうございました。

卒業式・卒業パーティの様子

卒業生あいさつ

入学して4年という年月があっとゆう間に過ぎ去りました。

学生時代を振り返ると、楽しい時も苦しい時も一緒に乗り越えた仲間や、長崎国際大学で学んだおもてなしの心、そして何より心強かったのは温かく接してくださった先生方、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、長崎国際大学の卒業生として恥じぬよう、精いっぱい頑張っていきたいと思います。

今後も長崎国際大学のますますの発展をお祈りいたします。

人間社会学部 国際観光学科
11期生 **田浦　麗美**